

ポールゴルフ

ポールゴルフは、昭和57年に武生市教育委員会保健体育課（現在のスポーツ課）がゴルフをアレンジして考案したニュースポーツです。ルールは、簡単な個人対抗の「個人ルール」と、チーム対抗のできる「団体ルール」があり、だれとでも手軽に楽しめるよう工夫されています。また、屋外はもちろん屋内でも楽しめるよう用具も工夫されています。

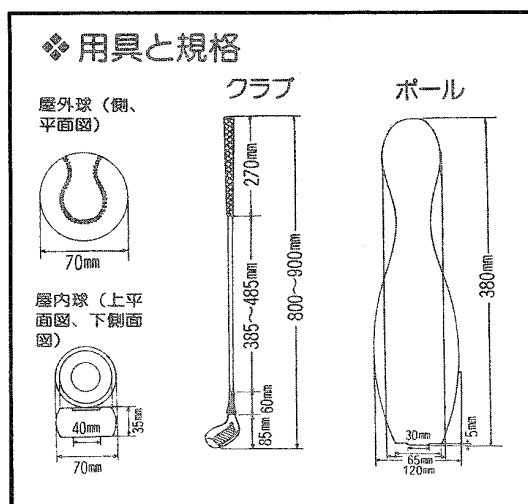
市内には中高年を中心に愛好者が多く、毎週練習会を開くなどして楽しまれています。

競 技

☆コースにポールを立て、ゴルフのようにクラブでポールを打ち、ポールを倒すまでの打数を競う。

用 具

☆専用のクラブ、ボール、ポールを使用する。



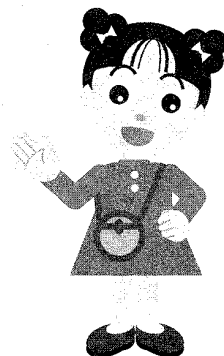
人 数

☆各ポール毎にスタートできるので一度に大勢のプレーが可能。「団体ルール」で楽しむ場合は1チーム2~5人とする。

場 所 (コート)

☆グラウンド、河川敷、公園等どこでも可。さらに屋内用バックを使えば体育館でも可。芝生上、また起伏があるとより楽しめる。広さに応じて距離とポール数を決めることができる。

☆市内では、中央公園、みどりと自然の村「太陽広場」、日野川河川緑地東岸・西岸、白崎公園、紫式部公園、東運動公園などで行われている。



	
運動量	★★★
技 能	★★★★
準 備	★★★★

ルール（進め方）

【個人ルール】

- ① ジャンケンで打順を決める。
- ② ゴルフの要領でポールを倒すまでを打つ。
- ③ ポールを倒せば1ポール終了。2ポール以後は前の組のプレーヤーが終了後にスタート。
- ④ 全ポール終了後合計打数の少ない方が勝者となる。
- ⑤ 空振りは打数には数えないが、1振りで2回打ったときは、2打として数える。
- ⑥ プレーの妨げになるボールは、一時的に取り除くことができる。
- ⑦ 他のプレーヤーのボールに当たった時は、ボールの止まった位置から続行。同伴競技者のボールは元の位置に戻す。
- ⑧ 1打目でポールを倒した時（ポールダウンワン）、その競技者の合計打数から、3打引いて計算する。
（※原則として、グランウンド・ゴルフのルールを準用する。）

【団体ルール】

- ① 対抗する2チームの人数を同数にする。
打順はチーム交互に行う。
- ② 全ポール終了後、チーム合計打数の少ないチームが勝者となる。
- ③ ボールがプレーの妨げになっても、取り除くことはできない。
- ④ 味方チームのボールに当たったときは、当てたボール（親）も、当てられたボール（子）も、もう一回打つことができる（ボーナス）。親はさらに味方に当たればボーナスを付けることができるが、子はボーナスを付けることができない。ボーナスは、打数に加えない。
- ⑤ 相手チームのボールに当たったときは、打数を1つ加える。当てられたボールはもとの位置に戻し、当てたボールは、ボールの止まった位置よりクラブの長さだけボールの反対側に移動する。

